徳之島虹の会事務局
2020 年 12 月発行
第２４号

2020 年も残すところあと数日となりました。12 月に入り、ついに徳之島でも新型コロナウイルスクラスターが発生してしまいました。警戒レベルも最大の５まで上がりましたが、幸い早い段階で収束したようで島も少しずつ落ち着きを取り戻しつつあります。とは言っても、これから年末年始を迎え、普段よりも人の交流が盛んになりますので、引き続き感染予防対策が大事ですね。油断禁物！元気に楽しく新年を迎えましょう♪

＊「ハブとの共存に関わる総合調査」事業がスタート

今年度、ハブの専門家の先生方と一緒に「ハブとの共存に関わる総合調査」事業に取り組んでいます。６月中旬にはハブの第一人者である服部正策先生が来島し、ハブのエサとなる野ネズミの調査や学校のハブ生息状況調査が開始しました。学校調査は、伊仙町内の全小学校にて行いました。

また、この事業の啓発活動の一環として、６月 17 日には徳之島高校の総合学科生物生産系列の２年生７名を対象に、ハブについての特別講座を行いました。講座では、ハブの頭の骨格標本や長～い皮、脱皮した抜け殻などを手に取って観察し、ハブの特徴や生態、毒についても話を聞きました。

調査・研究の報告を楽しみにお待ちください。

ハブの骨格を観察中

活動報告（2020 年６～10 月）

6/ 4　カムィヤキの森ガイド研修
6/ 5　環境省事業定点カメラ設置作業
6/ 9～12　鹿児島大学ポトス研究協力
6/10　観光連盟・意見交換会
6～11 月　ハブ調査協力(夜間学校調査・ルートセンサス)
6/17　徳之島高校出前授業
6/19　臨時理事会
6/23　希少植物移植作業
6/25　徳之島高校・外来種講習
7/ 8　炭化事業 Web 会議
7/ 9～11　JAL 取材対応
7/18　星空観察会
7/23　伊仙小家庭教育学級・剥岳林道散策
7/25　ハブ講習会（井之川集落）
7/27～29　伊仙中教員研修受入れ
8/ 1　親子森体験・犬田布岳（伊仙町・がじゅまるの家主催）
8/ 3　林道看板清掃作業
8/ 7　カムィヤキの森整備事業打合せ
8/ 9　山集落エコツアー
8/13　環境省奄美事務所長来所
8/18　外来種駆除作業
9/ 1　奄美希少野生生物保護増殖検討会出席
9/11　林野庁事業打合せ
9/17　植物研修会（鈴木英治先生）
9/23　クロウサギ交通事故防止キャンペーン協力
9/28～10/1　県ハブ事業研究者来島
9/29　県自然保護課来所
10/9　犬田布中学校出前授業（座学）
10/12　与名間分校 自然観察会（山クビリ）
10/15　伊仙小学校「秋さがし」
10/16　亀徳小学校出前授業「徳之島の大地を学ぼう」
10/19～23　森林総研ドングリ調査協力
10/19　滞在型観光促進事業会議
10/20　世界自然遺産推進共同体 総会（Web 会議）
10/24～25 日　県知事と語る会
10/26　植物選定検討会
10/29　林野庁 マツ確認作業

島っ子たちとの自然体験満載の１年でした！

世界中がコロナウイルス一色だったように感じるこの一年、振り返ると虹の会ではたくさんの島っ子たちと島の自然を満喫した一年でもありました。３密を避け、有り余る体力・気力を発散するのに自然の中はもってこい！島中のあちらこちらの森に子どもたちと出かけました。子どもの持つ感覚（第六感!?）はとっても鋭い！！見過ごすほどの小さな虫や目に付く不思議にとても敏感です。一緒に行く大人の方が気づかされること、勉強になることもたくさん！自然のおもしろさと共に、島の自然がいかに豊かで世界的にも貴重であるかなども話しました。

自然は楽しくもありますが、多くの危険も潜んでいます。ハブ、ハチなどの危険生物や、肌負けする人もいるハゼノキなど…“危険”と聞くと近寄りがたいですが、危険な生きものについて正しく知ることが自然を楽しむ第一歩です。活動の中でも、折りに触れ子どもたちにも伝えました。

このような体験活動の機会を多く設けることが出来るのも、三井製糖株式会社様より多くのご寄付をいただいたからこそ出来る活動に、感謝の気持ちでいっぱいです。来年以降も、子どもたちをはじめ地元の皆さんとも島の自然を深く堪能し、共に知り、楽しみ、学び、伝える仲間を増やしていきたいです。

徳之島の森は、森を構成する地質や樹木によって季節ごとに出会う動植物も変わり、何度訪れても行くたびに新しい発見や出会いがあります。旅行や集会等が難しい昨今、自然の中へ出かけてみませんか？未知の場所へ行ってみたい！動植物について知りたい！など、ガイドと一緒に行くと楽しさ倍増！！　詳しくは、**徳之島エコツアーガイド連絡協議会**【事務局：0997-86-5171（天城町企画財政課）】へお問合せください。

ガイドを紹介するホームページもありますよ！のぞいてみてね👀

ご寄付いただき ありがとうございました

三井製糖株式会社	様	（東 京 都）
林　恒夫	様	（兵 庫 県）
井上 脩士	様	（埼 玉 県）
山田 京子	様	（千 葉 県）
下西　恵	様	（鹿児島市）
服部 正策	様	（奄 美 市）
太平電機株式会社	様	（神奈川県）
㈱徳之島ビジョン	様	（徳之島町）
鈴木 恵子	様	（千 葉 県）

新規ご入会 ありがとうございます

満　仁志	様	（伊 仙 町）
平尾 光司	様	（神奈川県）
黒田 昇右	様	（大 阪 府）
義　英喜	様	（伊 仙 町）
ポカレル本田明美	様	（ネパール）

12 月 20 日
現在の会員数
104 名

虹のつぶやき

Vol.24　『2021 年は芽が出る年に』　by jimukyoku

「えっ、もう師走ですか！」気がつけばもう１年の終わりという。今年１年、コロナに始まりコロナで終わり、徳之島ももれなくクラスターが発生して大騒ぎとなりました。新型コロナウイルスは、短期間で蔓延し世界中が脅かされ驚異的ではありますが、自然界では、今回のコロナ騒動だけではなく、様々な異変が私達の身近な所でも起きています。集中豪雨や干ばつなどによる被害、松枯れなど病害虫の異常発生、インフルエンザの流行、家畜伝染病の脅威など、日常生活に制限がかかることはこれまでも度々経験してきました。それでも、人間はその自然の一員であり人間活動と自然は、切り離すことができない共存共栄の関係にあります。奄美・沖縄は、2003 年５月に国の世界自然遺産候補地に関する検討会において世界自然遺産の候補地として選定され、遺産登録への取り組みは 15 年以上の年月をかけ、ゆっくりと進められてきました。来る年は丑年。牛は古くから労働力として人間の生活に欠かせない動物で、その働きぶりから、丑年は結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期とされ、「これから発展する前触れ・芽が出る」というような年になると言われているそうです。2021 年は世界自然遺産登録の可否が決定する記念すべき年にはなると思いますが、結果が出る年ではなく、「これから発展する前触れ・芽が出る」年となるよう未来に思いを馳せている師走です。

賛助会員（年会費：5,000 円/１世帯）の募集、ならびにご寄付を受け付けています。当会の活動にご理解ご賛同いただける方のご入会、ご寄付、またはご紹介をどうぞよろしくお願いいたします。詳しくは、下記当会事務局へお問合せください。

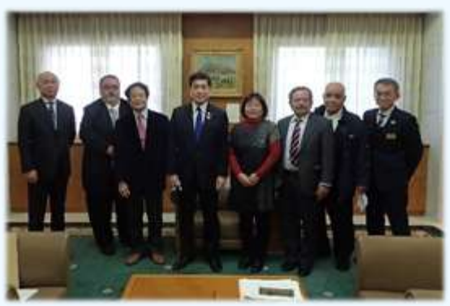
NPO 法人　徳之島虹の会
Tel＆Fax：0997-86-3575
Mail：shimaniji@gmail.com
facebookページはじめました

活動報告（2020 年 10～12 月）

11/ 1　上級救命講習
11/2～23　森林総研 コウモリ調査協力（週 1 回）
11/4　カムィヤキの森清掃作業
11/4　観光連盟 打合せ
11/6～8　植物研修会（寺田仁志先生）
11/11　犬田布中学校出前授業（野外）
11/13　ハブ調査協力(夜間学校調査)
11/17　県社会福祉協議会打合せ
11/18　幸徳保育園 自然観察会
11/26　環境省パトロール事業打ち合わせ
11/27　神之嶺小学校 自然観察会
11/27　面縄幼稚園 自然観察会
12/1　伊仙幼稚園 自然観察会
12/3　屋久島里めぐり推進協議会 視察・意見交換会
12/3　県自然保護推進員研修会
12/17　県ハブ事業 Web 会議
12/19　森林総研ドングリ調査 Web 会議
12/21　金子万寿夫事務所訪問
12/22　県庁訪問（塩田知事、自然保護課）
12/22　事務所大掃除
12/25　わかば保育園 自然観察会
12/28　仕事納め
1/ 4　仕事始め予定

鹿児島県庁を訪問しました。

12 月 22 日、虹の会今年最後の大仕事ということで県庁を訪問してきました。目的は、今年の 7 月末に鹿児島県知事に就任された塩田康一知事へのごあいさつと、県自然保護課職員の方々との意見交換会です。今回は政理事長、美延理事、事務局長のほか、徳之島のことをいつも熱く熱く思い応援してくださっている先生方も駆け付け同行してくださり、とても心強かったです。塩田知事は、過密スケジュールでお忙しい中ご対応くださり、その後は自然保護課の室の職員の方々が迎えてくださり、来年度に期待される世界自然遺産登録後の島の取り組みについて意見を交わしました。



今回、県庁を訪れた際、真っ先に目に飛び込んできたのが、「奄美大島、徳之島を世界自然遺産へ」と大きく掲げられた看板でした。目の前に迫っている世界自然遺産への道を力強く進んでいこうという県の意気込みを感じ、嬉しくなってみんなで記念撮影をしました。

今年も地道な活動、頑張っています！

今年は、新型コロナウィルスの影響で研究者の来島が難しくなり、調査や作業など虹の会で業務を受ける機会が倍増しました。
そのため、虹の会の活動を支えるシルバー部隊が地道な活動をいつも以上に頑張っています。

特に大変だったのは着生ランの移植作業でした。
今回は大きな整備事業なども重なり、延べ 15 日間・約 60 人で、松枯れによる倒木やはがれ落ちた樹皮についていた着生ランの採集と移植作業を行いました。
着生ランの移植作業は、高所作業になるため、清掃作業などと比べるととても神経を使います。

１日中作業をして帰ってくると、みんな疲れ切ってぐったりしています。
希少な種を守るため、地味な作業を人知れず地道にやる…虹の会のシルバー部隊の底力に今年も頭が下がる一年でした。
※これまで取り組んできた移植活動でのノウハウを生かし、今年は県の事業で「着生ランの移植マニュアル」も作成しました。

冬の森を彩る縁起のよい“ 実” たち

センリョウ

マンリョウ

縁起のよさにあやかってお正月に飾ってみてはいかがでしょうか(^^♪

徳之島虹の会　2020 年度の活動状況

2020 年の活動は、コロナの影響により登録の可否を決定する世界遺産委員会が延期とはなったものの、遺産登録に向けた様々な取組みがより一層活発化し、受託事業の他に自主活動も盛りだくさんとなりました。当会の自主活動は、会員の皆様の会費や応援してくださる方々のご寄付により運営されています。心からの感謝の気持ちこめて活動状況をお知らせしました。

事業主体	事 業 名	作 業 内 容
環境省	野生動物生息調査(保護増事業)	月1回カメラ点検/データ回収分類
	ノネコ対策事業	週1回カメラ点検/ノネコ捕獲
	希少種パトロール調査	パトロール,遺産区域踏査/希少種調査
	国立･国定公園への誘客の推進事業	遊歩道整備/ガイド研修/エコツアー実施
林野庁	国有林パトロール,希少種調査	パトロール巡回/看板清掃/徒歩希少種調査
	その他,不定期巡視	通常パトロール等活動協力
鹿児島県	ハブとの共存に関わる総合調査	野ネズミの調査カメラ設置
		学校夜間ハブ生息調査/出前授業
	みんなの生物多様性サポーター支援事業	犬田布岳麓外来種(ホテイアオイ)駆除
	県指定希少野生動植物種の保全対策事業	着生ランの採取･移植/移植マニュアル作成
観光連盟	エコツアーガイド人材育成事業	エコツアーの実施/学校自然観察会実施
	奄美群島の自然･魅力再発見事業(R3年～)	県補正予算事業　エコツアー
	ガイド研修及びエコツアー(R3年～)	広域事務組合事業　エコツアー/普及啓発
森林総研	希少動植物等調査,コウモリ類調査研究	集音装置点検.移動/データ回収.送信
	どんぐり豊凶調査研究	標準木の目視調査/データー集計
	フウラン共生菌調査研究	調査/種子.根採取作業
自主活動	行政等の世界遺産登録推進活動協力	視察研修受入れ/各種依頼対応
		各種委員会の組織委員職務/会議出席等
	3町,自然保護協議会活動協力	世界自然遺産登録推進･次世代育成事業の推進
	3町,エコツアーガイド連絡協議会活動協力	ガイド育成/研修会開催/各種依頼対応
	環境教育支援	小中学校の出前授業/自然体験
	建設土木業環境活動応援	公共工事事前下見/希少種移植/研修会協力
	住民,来島者等対応	各種問合せ/相談/苦情.休日対応
	報道,メディア対応	新聞.雑誌.TV他取材対応/来客対応
	大学生,研究者活動支援	研究･調査受入れ/研究発表協力
	その他	外来種対策.炭化設備導入計画推進
		会報誌発行/自然写真展開催
		日常的ボランティア清掃/環境保全活動
	NPO管理運営	県/納税/法務局等報告書/決算作業等
		理事会/定例会/総会/賛助総会
		事務所/公用車/労務管理等運営全般